

<http://msugai.fc2web.com/java/security/digest.html>

<http://www.ne.jp/asahi/hishidama/home/tech/java/security.html>

セキュリティーポリシーファイル

デフォルトで読み込まれるポリシーファイル

デフォルトで以下のポリシーファイルが読み込まれる

```
 ${java.home}/lib/security/java.policy  
 ${user.home}/.java.policy
```

これらは、JRE 以下の lib/security/java.security に書かれている

ポリシーファイルを指定する場合

```
java -Djava.security.manager -Djava.security.policy= ポリシーファイル 実行対象クラス
```

でポリシーファイルを指定できる。

ポリシーファイルの書き方

```
grant {  
    permission ~ 許可する権限 ~ ;  
};
```

な感じ。

grant の後にコードベースを指定する事が出来る。

```
grant { ~ };           全てに対しての権限許可  
grant codeBase "URL" { ~ }; 特定のコードベースに対しての権限許可
```

コードベースとは、ロードされるクラスの元となった場所。

指定するのはあくまで「コードベース」、つまり各パッケージのルートディレクトリーに相当する部分のみ。パッケージ毎・個別のクラス毎に指定することは出来ない。

URL としての指定なので、Windows であってもスラッシュ「/」で区切る。

また、「*」や「-」をワイルドカードとして使用できる。

codeBase の指定例	該当するクラスの例	説明
<u>file:C:/workspace/-</u>	C:\workspace\ 配下のクラス C:\workspace\sample1\classes 配下のクラス C:\workspace\sample2\classes 配下のクラス C:\workspace\hoge.jar 内のクラス C:\workspace\sample1\bin\hoge.jar 内のクラス	末尾が「/-」の場合、サブディレクトリーまで再帰的に含めた全ての class ファイル及び jar ファイル。

<u>file:C:/workspace/*</u>	C:\workspace\ 配下のクラス C:\workspace\hoge.jar 内のクラス	末尾が「/*」の場合、その場所の class ファイル及び jar ファイル。
<u>file:C:/workspace/</u>	C:\workspace\ 配下のクラス	末尾が「/」の場合、その場所の class ファイル。

サンプル

とりあえず、全許可

```
grant {
    permission java.security.AllPermission;    全権限を許可
};
```

とりあえず、code ベース指定して全許可

```
grant codeBase "

    permission java.security.AllPermission;    全権限を許可
};
```